# 会 議 绿 (要 旨)

会 議 名	平成29年度第6回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会			
開催日時	平成29年9月28日(木)午後6時30分 ~ 7時30分			
開催場所	中部地区会館(市役所4階)401大集会室			
出席者及び 欠 席 者	出席者:安島てつや、金子彰子、木下幸子、波多野愛子、福岡祐子 松木愛梨、峰岸喬、山内かよ子、杉本崇 緑が丘ふれあいセンター長 欠席者:小栁貴子 (事務局)協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事			
報告事項	第4回会議録について			
議題	1 夏休み事業について 2 活動の成果と次年度以降の委員会に向けて			
結 論 (決定した方針、 残された問題点、 保留事項等を記載 する。)	1 夏休み事業について (成果) ・企画から運営まで、全て市民委員の手で実施することが出来た。 ・子どもたちの中に男性的な職業、女性的な職業というイメージがある中で、性別に関係なく職業を選ぶことが出来るということを伝えられた。 (反省点) ・職業予想について、なぜその職業と予想したのか、子どもたちの意識を探るところまで掘り下げて実施しても良かった・参加者の年齢層が幅広く、フォローするのが大変だった。  2 活動の成果と次年度以降の委員会に向けて次回の会議までに、2年間の活動を振り返っての感想や気付いたことを考えてくる。次回の会議はグループに分かれて、各委員の意見を基に次期委員会に繋げられる点を考えた後、全体で活動の成果を市民に発信する方法を考える。 (その他) 第7回委員会は、平成29年10月25日(水)午後6時30分から開催する。場所については事務局から改めて通知する。			
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	議題1 夏休み事業について  ○ 小学生くらいだと、性別と職業選択の関係について、そこまで深く考えてないように感じた。 ○ 未就学児の来場者も多くいた。低年齢の子どもには少し難しい内容だったので、幅広い年齢の参加者に対応出来るようにする必要があった。 ○ 会場がセンターの一番奥の部屋だったので、誘導に人手を割く必要があった。また、個別インタビューに並んでいる子どもに対し、他のブースを			
(発信者) ◎印:副委員長 ○印:委員	案内するか、列を乱さないように並ばせるか、フォローするのが大変だった。			

## ●印:センター長

□印:事務局

- ◎ センターにいた子どもを多く引き込んだが、こども記者クラブを目的に 来場していた子どももいたのか。
- チラシを持ってきた子どもは、こども記者クラブを目的に来場していた と思われる。
- 予想以上の結果だったと思う。職業予想で、一人に対し複数の職業が予想されていたことは非常に面白かった。将来、職業や就職について考えるときに、こども記者クラブに参加したことを思い出してもらえたらとても良いと思う。
- 年齢が異なる子どもたち全てをフォローすることは難しいが、良い事業 が出来たと思う。各職業の方々からも好評をいただけた。
- 自分の職業について、子どもたちがどのようなイメージを持っているか を知れたことも面白かった。
- 今回の事業は自分たちの手で一から作り上げたので、充実感も大きかった。
- □ 職業予想の結果を見ると、男性的な職業、女性的な職業というイメージが子どもたちの中に無意識のうちにあるように伺える。なぜその職業だと予想したのか、理由を聞いてみても良かったかもしれない。個別インタビューでは、職業を選んだ理由を聞かれたりしたか。
- 性別と関連付けて聞かれたことはなかった。
- ◎ 男性的、女性的というイメージのある職業でも、性別に関係なく選ぶことができるということを伝えられたのが一番良かった点ではないか。

## 議題2 活動の成果と次年度以降の委員会に向けて

- □ 次回の会議までに、2年間の活動について感想や気付いたことなどを考えてきていただき、全員で共有しながら次期委員会に繋げられる点を考えたらどうか。また、活動の成果を発信する方法についても、意見を出し合いながら全員で考えられたらと思う。
- 報告書や発行物を作成するなら、市民が手に取って読みたいと思うようなものだと良いだろう。情報誌YOU・Iで特集という方法もある。
- ◎ 次回の会議はグループに分かれて、各委員の意見を基に次期委員会に繋げられる点を考えた後、全体で活動の成果を市民に発信する方法を考えるというのはどうか。

### -異議なし-

### (第7回委員会について)

□ 第7回委員会は平成29年10月25日(水)午後6時30分から開催する。場所は改めて事務局から通知する。

会議の公開・非 公開の別	■公 開 □一部公開 □非 公 開 ※一部公開又は非公開とした理由	傍聴者:	人
会議録の開示・ 非 開 示 の 別	■開 示 □一部開示(根拠法令等: □非 開 示(根拠法令等:		)
庶務担当課	協働推進部 協働推進課	(内線: 242)	

(日本工業規格A列4番)